



慢性腎臓病予防講演会を開催します

■ 慢性腎臓病の怖さ

慢性腎臓病は、本来、体の中で生じた老廃物を体外に排出し、体内の水分や電解質のバランスを保つ役割を担う腎臓の機能が低下した状態です。糖尿病になると、腎臓の機能が低下し、むくみや高血圧などの慢性腎臓病の症状を発症しやすくなります。近年増加が懸念されています。

しかし、慢性腎臓病は、初期には自覚症状がほとんどなく、気付いた時には重症化していることが多いのが現状です。また、一度悪化した腎臓の機能はもとの状態に戻すことは難しいとされています。

慢性腎臓病の発症・進行を予防するため、広く市民に正しい情報や知識の普及を図ることを目的に、「慢性腎臓病予防講演会」を開催します。

■ 糖尿病と腎臓の関係から考える健康・長寿のコツを教えます

今回は、慢性腎臓病の原因の大きな一つである糖尿病をテーマに、奈良県立医科大学地域医療学講座教授で腎臓専門医・糖尿病専門医の赤井靖宏さんに講演していただきます。腎臓の数値が気になる方、家族の健康が気になる方、この機会に聞いてみませんか？

■ 慢性腎臓病予防講演会

日時 2月26日(日) 14:00～15:30(開場は13:30)

場所 生駒市コミュニティセンター 文化ホール

費用 無料(申込不要)

■ 赤井靖宏さん(奈良県立医科大学地域医療学講座教授)

腎臓専門医, 糖尿病専門医, リウマチ専門医

専門診療・研究分野: 腎臓病・透析医療, 糖尿病, リウマチ・膠原病, 医師卒後教育

1995年 奈良県立医科大学大学院を修了

1996年 米国トマスジェファーソン医科大学付属病院 内科レジデント

2001年 米国ペンシルバニア大学 腎臓・電解質・高血圧内科 臨床フェロー

2008年 奈良県立医科大学 卒後臨床研修センター 准教授 循環器・腎臓・代謝内科 兼務

2012年 奈良県立医科大学付属病院 糖尿病センター 副センター長 兼務

2015年 奈良県立医科大学 地域医療学講座 教授



この件に関する報道関係からのお問い合わせ

生駒市健康課(成人保健係 西田) ☎0743-75-2255